

FILE No. 11
保健福祉部

ファイルは全21ファイルあり、評価表の見方はFILE No. 1にあります。
 評価一覧は、FILE No. 1の整理番号順目次をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名	
こども発達センター	315		施設維持管理等	
	316		給食運営	
	317		利用者通所バス (たんぼぼ園通園バス)	
	318		通園グループ指導 (たんぼぼ園)	
	319		訓練及び行事	
	320		相談	
	321		言語心理指導	
	322		保健指導	
	323		運動機能リハビリテーション	
	324		巡回指導	
	325		療育講座等	
	高齢者活動支援センター	178		長寿祝い品贈呈
		179		敬老会
180			81歳 (半寿) 顕彰	
183			いきいきサービス	
284			高齢者活動支援センター運営・管理	
286			電話訪問事業	
287			健康・就労相談	
288			ゲートボール場運営	
289			センター事業	
290			敬老会館施設維持管理及び運営委託	
291			文化事業	
292		1	健康体操	
292		2	三療サービス	

次のページへ

児童青少年センター

FILE No. 11
保健福祉部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。
評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
児童青少年センター	352		少子化対策臨時特例交付事業（区立児童館・学童クラブ施設設備整備）
	370		児童青少年センター施設維持管理及び運営
	371		ボランティア運営
	372		児童青少年センター事業
	373		子ども家庭支援センター
	374		青少年社会参加活動推進事業
	375		国内交流事業
	376		児童館維持管理及び運営
	377		児童館事業
	378		母親クラブ活動助成費
	379		学童クラブ施設維持管理及び運営
	380		学童クラブ事業

前のページへ

高齢者活動支援センター

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理等				整理番号	315		枝番号		
所属部課名		子ども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	332	
係名		管理係		上位施策名				NO			
予算事業名		子ども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 児童福祉法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立子ども発達センター条例						
							(3) 杉並区立子ども発達センター運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		建物の維持管理 施設運営に関する事務				活動指標名 (式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が安全・快適に利用できるよう、施設を良好な状態に維持する。				成果指標名 (式)				
						(1) 保守委託契約件数 (建物設備、電気保安、印刷機、昇降機、自動扉、清掃) 延べ床面積 1,775m ² (2)					
						(1) 修理件数 (2)					
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 総合的な療育を実施するための環境を整備する。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	件	6	6	6	6	6				
	活動指標 (2)	m ²	1,775	1,775	1,775	1,775	1,775				
	成果指標 (1)	件	7	12	10	14	20				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	25,679	25,337	25,665	25,925	24,385	特記事項		
	(内)委託費		千円	12,097	11,822	11,971	11,684	11,145			
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.55	1.55	1.56	1.54	1.54			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,063	14,063	14,157	13,976	13,976			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	39,742	39,400	39,822	39,901	38,361			
	単位あたりコスト ÷		円	6,623,692	6,566,692	6,637,000	6,650,083	6,393,417			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	39,742	39,400	39,822	39,901	38,361				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		新規相談件数の推移 11年度:111件 12年度:117件 13年度:149件								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		障害者団体よりプールや会議室の使用の希望があり 目的内利用に供している。								
	今後の予測		経年変化による建物や施設設備の劣化や不具合が出てきており 修理 修繕経費の増加が予想される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		給食運営				整理番号	316		枝番号	
所属部課名 保健福祉部 こども発達センター		コード	093800		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	333	
係名 管理係		上位施策名				NO				
予算事業名 こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実				27	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区こども発達センター給食実施要領							
	・通園グループ指導事業(たんぼぼ園)在籍児及びその保護者、給食指導職員		(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)							
	・通園児童への昼食の提供 ・児童の口腔機能に応じた形態の調理 ・摂食指導の実施		(1) 給食提供数 (2) 特別な形態食、アレルギー対応食を必要とする児童数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)								
・集団の場での喫食に慣れ、健全な発育に必要な栄養を確保する ・口腔機能の向上と食域が広がる		(1) 給食提供数延/対象者延数 (2) (代)口腔機能向上児/特別な形態食、アレルギー対応食を必要とする児童数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		・障害児の食生活に関する発達の機会を提供する								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		食	15,328	17,078	17,078	17,744	17,000		
	活動指標(2)		人	35	40	40	32	40		
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100		
	成果指標(2)		%	42	50	35	9	50		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,209	13,319	13,968	13,420	12,996	特記事項 「国都からの支出金」は、通園グループ指導(たんぼぼ園)に含まれている。 *国都からの支出金は、通園グループ(たんぼぼ園)として給食費分も含めて一括交付されているが、内訳は不明のためここに計上できなかった。	
	(内)委託費		千円	12,910	13,117	13,766	13,367	12,794		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.51	1.51	1.51	1.51	1.51		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,700	13,700	13,703	13,703		13,703
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++		千円	26,909	27,019	27,671	27,123	26,699		
	単位あたりコスト ÷		円	1,756	1,582	1,620	1,529	1,571		
	財源	受益者負担分		千円	3,083	3,307	3,636	3,363		3,254
		国都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	3,083	3,307	3,636	3,363		3,254
差引:一般財源 -		千円	23,826	23,712	24,035	23,760	23,445			
受益者負担比率 ÷		%	11.5	12.2	13.1	12.4	12.2			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		給食提供を義務つけた国の方針に変更はない。形態については、個々の口腔機能に合わせて行ってきたが、それに加えアレルギー食への対応を行っている。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		親子グループの保護者にも給食を提供してほしいという要望がある。(幼児グループにも親子通園日が設けられており 週5は2日 週3は1日給食を実費で提供している。)							
	今後の予測		調理委託料との関係ではこれ以上給食数を増やすのは現状としては難しい。家庭における調理機能が低下することが考えられるので、給食を通じての援助、指導がより一層必要になる。							

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		利用者通所バス（たんぼぼ園通園バス）			整理番号	317	枝番号	
所属部課名 保健福祉部 こども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	334	
係名 管理係		上位施策名					NO	
予算事業名 こども発達センター		コード	32420	障害児の援護の充実			27	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法			
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立 こども発達センター通園グループ通所バス運行要領					
	通園グループ指導事業（たんぼぼ園）在籍児及びその保護者		(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 住所や身体状況を考慮した停留所を設定し、マイクロバス3台で送迎する。また、社会体験・保育園交流・アフターグループ等の交通手段として運行する。				活動指標名（式）			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 子どもが抱えている課題を解決するため、利用者の利便を図り、療育の動機づけや継続的通園を支援する。				成果指標名（式）			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 継続した働きかけが必要な親子の通園の利便を図り、障害のある子どもの発達を援助する。				(1) (代)バス運行回数 ÷ バス運行日数				
				(2)				

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	日	254	254	254	254	254			
	活動指標(2)	回	1,944	1,977	1,900	2,112	2,100			
	成果指標(1)	回	8	8	7	8	8			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	34,864	33,365	33,365	33,365	33,365	特記事項		
	(内)委託費	千円	34,864	33,365	33,365	33,365	33,365	「国・都等からの支出金」は、通園グループ指導（たんぼぼ園）に含まれている。国・都からの支出金は、通園グループ指導（たんぼぼ園）としてバス運行分も含めて一括交付されているが、内訳については不明のためここに計上できなかった。		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.50	0.50	0.51	0.51	0.51			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	4,537	4,628	4,628			4,628
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	39,401	37,902	37,993	37,993	37,993			
	単位あたりコスト ÷	円	155,120	149,219	149,580	149,580	149,580			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引：一般財源 -		千円	39,401	37,902	37,993	37,993	37,993			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	通園バス運行を義務づけた国の方針に変更はない。開設当初は、たんぼぼ園の通所と社会体験事業を主として運行していたが、通園事業に支障のない範囲で個別指導に来所する肢体不自由児、アフターグループ通園等にも広げ、より有効に活用している。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）	心身の発達に障害や遅れのある就学前の子どもが1時間も乗車するのは厳しい。通所時間の短縮を図るため増車してほしい。 通園のみでなく個別指導やアフターグループにももっと利用できるように、午後の契約時間を長くしてほしい。
	今後の予測	杉並全域どこに住んでいても通所の利便性を図ることが必要。4月及び年度途中にも通園児の入れ替えがあり柔軟な運用が求められると考える。センター全体の事業からも利用希望が高まることが予想される。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通園グループ指導（たんぼぼ園）				整理番号	318		枝番号	
所属部課名 保健福祉部 こども発達センター		コード	93800		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	335	
係名 管理係		上位施策名						NO		
予算事業名 こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		心身に障害や発達の遅れのある、就学前の子どもとその保護者		(2) 東京都障害児通園（デイサービス）事業実施要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		幼児グループと親子グループの9グループ編成。自由遊び、課題遊び、専門療法、社会体験活動などを実施し、子どもの発達を促す。どのグループも保護者と一緒に通園する日が入っている。		(3)					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		集団活動を通して低年齢からの適切な療育を実施することにより発達を促し、子どもが身近な地域の中で生活できるようにする。保護者も療育の場に参加することにより、子どもの障害を受容し、見通しをもって子育てできるようにする。		活動指標名（式）					
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		一人一人の状況に配慮した療育を実施することにより、障害児の発達を援助する。		成果指標名（式）					
				(1) (代)通園児数 ÷ 通園希望者数 (他機関に入園した子及び次年度希望者を除く)						
				(2)						
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	70	70	70	70	70			
	活動指標(2)	人	80	89	90	85	90			
	成果指標(1)	%	98	100	100	100	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,466	8,509	8,466	8,190	8,011	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0	「国・都等からの支出金」には給食運営・通所バス分も含まれているが、内訳については不明なので、ここに一括して計上した。		
	職員数(正規 非常勤)	人	15.42	15.42	15.33	15.33	14.90			
	人件費	千円	139,906	139,906	139,120	139,120	135,218			
	職員分(超勤分含む)	千円	139,906	139,906	139,120	139,120	135,218			
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	148,372	148,415	147,586	147,310	143,229			
	単位あたりコスト ÷	円	2,119,595	2,120,209	2,108,368	2,104,425	2,046,121			
	財源	千円	0	0	0	0	0			
	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
国・都等からの支出金	千円	98,209	99,825	104,000	105,187	105,052				
特定財源計 +	千円	98,209	99,825	104,000	105,187	105,052				
差引：一般財源 -	千円	50,163	48,590	43,586	42,123	38,177				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	済美養護学校幼児教室が15年度から廃止予定となり受け皿としてのこども発達センターたんぼぼ園の充実が求められている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	幼児グループの親子通園日を減らしてほしい 低年齢児でも単独通園日を設けてほしい。								
	今後の予測	親のレスパイトの要求が強くなると予想される。 早期療育への要望も強くなっていくと予想される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訓練及び行事				整理番号	319		枝番号		
所属部課名 保健福祉部 こども発達センター		コード	093800		連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	336		
係名 管理係		上位施策名						NO			
予算事業名 こども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実						
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立こども発達センター条例								
	通園グループ在籍児及びその家族 センター利用児及びその家族		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 園外訓練(遠足)、運動会、就学を祝う会、入園式、家族交流会 夏まつり 障害をもつため、地域のまつりに参加できない親子に祭りの体験をしてもらう。また、日頃センターに来所することの少ない父親や家族が来所する機会とする。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 子ども達が訓練や行事に参加し、さまざまな体験をすることで成長のきっかけにする。 日頃の活動の節目として子どもの成長発達を促す。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 様々な節目の活動を通して、子どもの発達を促している。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		年度	
指標	活動指標(1)		人	239	228	259	245	250			
	活動指標(2)		人	270	235	300	279	300			
	成果指標(1)		%	82	78	89	100	90			
	成果指標(2)		%	77	67	85	85	90			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	450	261	411	288	305	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	1.36		1.36		1.33		1.31	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,339	12,339	12,070	11,888	11,888			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	12,789	12,600	12,481	12,176	12,193			
	単位あたりコスト ÷		円	53,512	55,264	48,188	49,699	48,773			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	12,789	12,600	12,481	12,176	12,193				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		特になし								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		様々な社会体験をすることで、自信につながるので今後も続けて欲しいとの要望がある。								
	今後の予測		訓練及び行事は子どもの成長には大事な取り組みであり 内容・対象者については見直しはあるが、必要な事業である。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		相談			整理番号	320		枝番号				
所属部課名		子ども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661	昨年度整理番号	337			
係名 管理係				上位施策名				NO				
予算事業名				子ども発達センター		コード		32420				
				障害児の援護の充実				27				
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期			● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区立子ども発達センター条例				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱						
	心身の発達につまずきや障害があると思われる、区内在住の18歳未満の子どもとの保護者及び関係者。			(3) 杉並区立子ども発達センター相談事業実施要領								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名(式)								
	電話・来所による相談を受け、適切な解決策が得られるよう援助する。			(1) 相談実施件数(電話相談 新規相談 医療相談)								
			(2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名(式)									
相談者を受容し適切に対応することにより、保護者等が安心して療育・保育・教育等にのぞめるようになり、障害のある子どもの発達の機会が早期に保障される。			(1) 相談により適切な療育を受けられるようになった件数									
			(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
個々の相談に的確に対応するとともに、障害児の早期療育体制を確立する												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件	476	504	500	592	600					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	465	495	500	586	600					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,712	1,637	1,618	1,526	1,617	特記事項				
	(内)委託費	千円										
	職員数(正規 非常勤)	人	3.13	3.13	3.12	3.12	3.18					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	28,398	28,398	28,314	28,314	28,859				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	30,110	30,035	29,932	29,840	30,476					
	単位あたりコスト ÷	円	63,257	59,594	59,864	50,405	50,793					
	財源	受益者負担分	千円									
		国都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	30,110	30,035	29,932	29,840	30,476					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	相談件数 平成9年度755件 平成10年度560件 平成11年度476件 平成12年度504件 平成13年度592件 平成9年度は子ども発達センターの事業開始に伴い相談が殺到した。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	就学してからも、いろいろな相談にのってほしいとの要望がある										
	今後の予測	障害の出現率に大きな変化はないと思われ、ほぼ横ばいの傾向で需要は推移すると思われる										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		言語心理指導				整理番号	321		枝番号	
所属部課名		子ども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	338
係名		管理係			上位施策名				NO	
予算事業名		子ども発達センター		コード	32420	障害児の援護の充実				27
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区立子ども発達センター条例			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		発達に遅れのある区内在住の18歳未満の子どもの保護者		(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		言語・心理の専門技術により、対象者の発達全般を促すとともに保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する				(3)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		言語・心理の専門的な指導によりその発達が促され、本人の可能性や能力が発揮できる				活動指標名 (式)			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害児の早期療育が充実する				成果指標名 (式)			
						(1) 個別指導及び専門相談実施件数				
						(2)				
						(1) (代)個別指導および専門相談を実施し向上した人数				
						(2)				
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)	件	3,500	3,174	3,500	4,231	4,300			
	活動指標 (2)									
	成果指標 (1)	人	264	307	350	473	480			
	成果指標 (2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	18,821	18,937	23,754	22,822	23,460	特記事項		
	(内)委託費	千円								
	職員数 (正規 非常勤)	人	1.60	1.60	1.60	1.59	1.59			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,517	14,517	14,520	14,429	14,429		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	33,338	33,454	38,274	37,251	37,889			
	単位あたりコスト ÷	円	9,525	10,540	10,935	8,804	8,811			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	33,338	33,454	38,274	37,251	37,889			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	言語心理個別指導及び専門相談の実施件数 9年度 2,250件 10年度 3,001件 11年度 3,500件 12年度 3,174件 13年度 4,231件								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	学齢期児童への個別指導に対する要望がある								
	今後の予測	学齢期児童の個別指導実施に対する要望はさらに高まると予想される								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健指導				整理番号	322		枝番号			
所属部課名		子ども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	339		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		子ども発達センター		コード	32420	障害児の援護の充実				27		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区立子ども発達センター条例					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱					
	相談・通園グループ指導・個別指導の利用児とその保護者および関係者						(3) 杉並区立子ども発達センター保健医療事業実施要領					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		看護師の視診による子どもの身体状況の把握。口腔機能・摂食嚥下機能の評価および技術援助。保健・栄養相談に応じる他、保健たよりなどで保健情報を提供する				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者の健康維持を図るとともに、口腔機能・摂食嚥下機能の向上等をめざし、本人の可能性・能力を十分に発揮できるようにする。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害児の早期療育が充実する。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		件	875	881	880	952	900				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	58	67	60	65	60				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	883	1,614	2,900	2,355	2,249	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	1.09	1.09	1.09	1.10	1.10				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,890	9,890	9,892	9,983	9,983			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,773	11,504	12,792	12,338	12,232				
	単位あたりコスト ÷		円	12,312	13,057	14,536	12,960	13,591				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	10,773	11,504	12,792	12,338	12,232					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		個別摂食指導人数 9年度 18人 10年度 41人 11年度 58人 12年度 67人 13年度 65人									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		指導対象児が所属する保育園・学校などから、職員に対する支援を充実してほしいという要望がある									
	今後の予測		医療的ケアの必要な障害程度が重い子どもが増えると思われる。摂食指導の頻度増加や関係職員への支援充実を求める声は増大すると思われる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		運動機能リハビリテーション				整理番号	323		枝番号						
所属部課名		子ども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	340					
係名 管理係				上位施策名				NO							
予算事業名				子ども発達センター		コード	32420		障害児の援護の充実		27				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区立子ども発達センター条例										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内在住の18歳未満で運動機能に障害があり、日常生活動作が困難な子どもとその保護者及び関係者				(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 理学療法及び作業療法の専門技術により対象者の運動発達を促すとともに、保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。補装具相談を実施する。				(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 理学療法及び作業療法の専門技術により対象者の運動発達を促すとともに、保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう援助する。補装具相談を実施する。				活動指標名(式)				(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施回数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 対象者の発達が促され、もてる能力を最大限に発揮して可能な限り質の高い日常生活を送ることができるようにする				成果指標名(式)				(1) リハビリテーション個別指導及び専門相談実施人数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害児の早期療育が充実する															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		件	2,528		2,748		2,600		2,404		2,500			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		人	113		147		130		131		130			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,559		3,984		4,182		4,300		4,019		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	3.66		3.66		3.65		3.65		3.67			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	33,207		33,207		33,124		33,124		33,305		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	36,766		37,191		37,306		37,424		37,324			
	単位あたりコスト ÷		円	14,544		13,534		14,348		15,567		14,930			
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	36,766		37,191		37,306		37,424		37,324				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		リハビリテーション登録者数 9年度92人 10年度81人 11年度113人 12年度147人 13年度131人												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		定期的な個別指導を、18歳まで実施してほしいという要望がある												
	今後の予測		学齢期児童の個別指導に対する要望はさらに高まると思われる 教育機関との連携を求める声も強くなるとされる												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		巡回指導				整理番号	324		枝番号		
所属部課名		子ども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	341	
係名		管理係			上位施策名				NO		
予算事業名		子ども発達センター		コード	32420	障害児の援護の充実				27	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区立子ども発達センター条例				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱						
	障害児が在籍する区内保育園の担当者		(3) 杉並区立子ども発達センター巡回指導実施要領								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)								
	児童精神科の医師や心理の職員が保育園に出向き、担当者の相談に応じ助言指導・情報交換を行うことで、相互に協力しながら障害児の抱える課題の解決を図る。		(1) 巡回指導実施件数 (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)									
保育担当者が不安なく障害児保育に従事し、適切に指導することで障害児の地域での生活が充実する		(1) 保育園の障害児認定児童数および巡回指導を受けた幼稚園児・小学生の数 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		総合的療育体制づくりを実現する									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	件	241	251	260	243	250				
	活動指標 (2)										
	成果指標 (1)	人	106	110	120	125	120				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,619	4,347	5,383	4,401	5,323	特記事項		
	(内)委託費		千円	5,324	4,347	5,263	4,281	5,263			
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.58	0.58	0.58	0.58	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,262	5,262	5,264	5,264	5,445			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	10,881	9,609	10,647	9,665	10,768			
	単位あたりコスト ÷		円	45,151	38,284	40,948	39,772	43,072			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	10,881	9,609	10,647	9,665	10,768				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		巡回指導実施回数 9年度 139回 10年度 228回 11年度 241回 12年度 251回 13年度 243回								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		幼稚園や学童クラブにも巡回してほしいという要望がある								
	今後の予測		幼稚園等への指導実施に対する要望はさらに高まると予想される								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		療育講座等				整理番号	325		枝番号	
所属部課名		子ども発達センター		コード	093800	連絡先電話番号	5317-5661		昨年度整理番号	342
係名		管理係			上位施策名				NO	
予算事業名		子ども発達センター		コード	32420	障害児の援護の充実				27
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区立子ども発達センター条例			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立子ども発達センター運営要綱			
	子ども発達センター利用児の保護者 関係機関職員						(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		療育講座 (年3回) リハビリテーション講座 (年2回) 摂食指導講演会 (年2回) 施設公開 (年1回)				活動指標名 (式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		保護者が子どもの状況を理解し、見通しをもった子育てができるようになる。障害や子育てについての最新の知識や情報を得ることにより、地域での受け入れや関係機関との連携をスムーズにする。				成果指標名 (式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		保護者の見通しをもった子育てや総合的療育体制づくりを実現する。				(1) (代) 参加者数 / センター利用登録者数 (療育講座)				
						(2) (代) 参加機関数 / 案内状を送付した関係機関数 (療育講座)				
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)	人	274	229	360	246	250			
	活動指標 (2)									
	成果指標 (1)	%	15	22	30	38	30			
	成果指標 (2)	%	51	58	70	22	50			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	215	243	285	285	211	特記事項		
	(内)委託費	千円								
	職員数 (正規 非常勤)	人	0.70	0.70	0.71	0.70	0.70			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,351	6,351	6,443	6,353	6,353		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	6,566	6,594	6,728	6,638	6,564			
	単位あたりコスト ÷	円	23,964	28,795	18,690	26,982	26,254			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	6,566	6,594	6,728	6,638	6,564			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	講座の内容に関する要望が多岐かつ専門的になってきたので、テーマを絞って実施している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	個々のニーズに応じた専門的な内容を実施してほしいとの要望がある。								
	今後の予測	子どもの発達に不安を抱える保護者は常にいるので、入門的な内容の講座の需要は変わらない。また学齢児等の段階を追った専門的な内容の需要が高まると予想される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		長寿祝い品贈呈				整理番号	178		枝番号	
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	094101	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	198
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		敬老事業		コード	30150		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法第4条、第20条の7			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		満100歳以上の高齢者		(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		長寿の祝い品として、区が指定した品物の中から対象者が選んだ品を贈呈する。百歳該当者のうち希望者には区長ほか区職員が訪問のうえ贈呈する。				(3)			
	活動指標名 (式)						(1) 祝い品贈呈者数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者が周囲の人々から長寿を尊ばれることにより、さらなる長寿意識が醸成される。				(2) 訪問希望者数				
成果指標名 (式)						(1) 区民全人口に占める100歳以上人口の割合				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者が生きがいを持って生活することの一助となっている。				(2)				
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	903	84	112	115	145			
	活動指標(2)	人		12	15	11	15			
	成果指標(1)	%	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,580	622	952	803	1,153	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0	平成12年度から事業の対象を百歳以上の区民とした。		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.45	0.00	0.46	0.00	0.50	0.00	0.53	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,083	4,174	4,538	4,810	2,723		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + + +	千円	7,663	4,796	5,490	5,613	3,876			
	単位あたりコスト ÷	円	8,486	57,090	49,013	48,807	26,728			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
		国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	7,663	4,796	5,490	5,613	3,876			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化率の推移 昭和50年7.42%、平成元年11.44%、平成11年16.15%								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	お礼や喜びの電話 手紙が寄せられているが、これらの財源を他の高齢者施策に有効活用してほしいとの要望もある。 また、都の長寿祝い品贈呈と対象年齢の基準日が異なるため、祝い品贈呈が2か年にまたがりわかりづらいとの意見もある。								
	今後の予測	高齢化率の推移 平成17年19.52%								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会				整理番号	179		枝番号					
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	094101		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	199			
係名 管理係				上位施策名				NO						
予算事業名 敬老事業				コード	30150		高齢者の社会参加と交流の拡大				30			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第4条									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 75歳以上の高齢者				(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例									
					(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 対象者の長寿を祝い、演芸会に招待する。式典は半寿顕彰(81歳)と同時に開催する。				活動指標名(式) (1) 来場者数 (2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が集い、楽しむ機会を提供されることにより、さらなる長寿意識が醸成される。				成果指標名(式) (1) 来場率(来場者数/対象者数)×100 (2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者が生きがいを生活することの一助になっている。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		人	2,517		1,032		3,166		3,694		4,500		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	7.1		2.8		8.1		9.6		11.0		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,749		3,116		4,757		2,740		5,277	特記事項	
	(内)委託費		千円	3,688		3,086		2,518		189		2,518		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.68	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.74	0.00	0.70		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,170		6,351		6,353		6,716			6,353
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + + +		千円	11,919		9,467		11,110		9,456		11,630		
	単位あたりコスト ÷		円	5		9		4		3		3		
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円	2,259		1,558		2,378		2,378			2,638
		特定財源計 +		千円	2,259		1,558		2,378		2,378			2,638
差引:一般財源 -		千円	9,660		7,909		8,732		7,078		8,992			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		娯楽の質が変化し参加者の意識が演芸鑑賞に興味を薄くし、参加型の開催を求められるようになりつつある。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		テレビの普及、カラオケ等娯楽の種類が増加等により、高齢者の質が変化し、特定会場に集めての敬老会は魅力が乏しい。											
	今後の予測		区民の生活スタイルや嗜好が多様化し、全体の総意が得にくくなる。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	81歳(半寿)顕彰	整理番号	180	枝番号			
所属部課名	保健福祉部高齢者活動支援センター	コード	094101	連絡先電話番号	4316	昨年度整理番号	200
係名	管理係	上位施策名				NO	
予算事業名	敬老事業	コード	30150	高齢者の社会参加と交流の拡大	30		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 老人福祉法第4条、第20条の7			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	満81歳の高齢者	(2) 杉並区高齢者活動支援センターおよび敬老会館条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名(式)			
	満81歳の高齢者を対象に、半寿の祝いとして敬老会とともに開催する式典に招待する。また、子どもたちなどの手作りによる記念品を贈呈する。			(1) 対象者数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名(式)				
高齢者が、81歳を人生のまだ半分ととらえ、今後も活躍の意欲をもつ。また、各世代とりわけ子供たちから人生の節目を祝われることにより、地域貢献への意欲が醸成される。			(1) 訪問による配布率 = 訪問数 / 対象者数 × 100				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか			(2) 半寿交流会の参加率 = 参加数 / 対象者数 × 100				
高齢者が地域社会貢献や連帯の意識をたかめられる。							

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	人	2138	2481	2541	2800					
	活動指標(2)	団体			72	79					
	成果指標(1)	%				1.5					
	成果指標(2)	%			0.2	4.3					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,851	4,819	3,269	4,914	特記事項				
	(内)委託費	千円	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)	人		0.58 0.00	0.60 0.00	0.64 0.00	0.80 0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	5,262	5,445	5,808	7,260			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + + +	千円	0	8,113	10,264	9,077	12,174				
	単位あたりコスト ÷	円		4	4	4	4				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	0	8,113	10,264	9,077	12,174				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢の対象者の増加。平成13年度 65歳以上人口 16.66% 平成14年度 16.93% 一人暮らし高齢者の増加。平成8年～12年 11.3% 平成13年～ 12.7%									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	半寿は知られていない。物をもって仕方がない。祝いを敬老会館まで取りに行かなければならない。数ある長寿祝いの中で、杉並区がなぜ半寿を祝うのか理解できない。									
	今後の予測	元気で長寿の高齢者が増加する。一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加する。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		いきいきディサービス				整理番号	183		枝番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	094101	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	202			
係名 管理係				上位施策名				NO					
予算事業名				いきいきディサービス		コード	22500		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31		
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期			●無 ○有		平成 年度		(1) 杉並区いきいきディサービス実施要綱					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区介護予防 生活支援事業運営要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			(3)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			活動指標名 (式)									
虚弱な高齢者が閉じこもりにならず、敬老会館に通える身体機能が維持され、仲間との交流の機会を得ている。			成果指標名 (式)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか			(1) 利用実人員 ÷ 介護保険自立判定者 × 100										
高齢者が自立して生活できることを支援している。			(2) 利用人員 (年度当初) - 利用人員 (年度末) ÷ 利用人員 (年度当初) × 100										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標 (1)	人		52	790	216	480						
	活動指標 (2)	人		0	640	580	300						
	成果指標 (1)	%		14.7		89.26							
	成果指標 (2)	%				47.11							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	14,060	23,392	22,300	12,831	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	特定財源 施設整備は都補助金介護予防拠点整備事業費補助金 運営費は高齢者いきいき事業費補助金 13年度当初は、旧わくわく活動も含めて、利用者実人員とした。				
	職員数 (正規 非常勤)		人		0.35 8.00	0.70 21.00	0.74 #####	1.10 #####					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	3,176	6,353	6,716			9,983		
		非常勤職員分		千円	0	23,512	62,286	62,286			56,354		
	総事業費 + + +		千円	0	40,748	92,031	91,302	79,168					
	単位あたりコスト ÷		円		784	116	423	165					
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0			0		
		国 都等からの支出金		千円		20,700	32,134	47,898			21,955,500		
		特定財源計 +		千円	0	20,700	32,134	47,898			21,955,500		
差引：一般財源 -		千円	0	20,048	59,897	43,404	-21,876,333						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険導入に伴う介護予防施策として実施。当初推定されていた、要介護認定で自立と判定される高齢者の出現が多くなかった。平成13年度は元気高齢者が虚弱に、虚弱な高齢者が介護保険にならないように敬老会館のわくわく活動に参加している元気高齢者を取り込んで自主グループ立ち上げ支援等自立を支援するプログラムを実施した。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		自主的に活動をしなくても、長年にわたり若い高齢者支援ワーカーが敬老会館を巡回して手芸を習えらして、教室化していたため、自主グループ立ち上げ支援等自立を支援するプログラムは、利用者から苦情が多かった。										
	今後の予測		自主グループ立ち上げについての理解は、長年敬老会館を利用している元気な手芸愛好者には受け入れられないが、新たに出現する虚弱な高齢者は、いきいきサービスの利用をとおして、敬老会館の他の利用者グループとの交流を持つことにより、閉じこもり先解消され、介護予防につながっていく。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター運営・管理				整理番号	284		枝番号				
所属部課名		高齢者活動支援センター		コード	094101	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	293			
係名		管理係				上位施策名			NO				
予算事業名		高齢者活動支援センター運営 高齢者活動支援センター維持管理		コード	29550 38350	高齢者の社会参加と交流の拡大			30				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法第15条、第20条の7						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民		(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者が快適な時間を過せるように、施設・設備の保全を行なうとともに、大広間での事業や講座室・大広間等の貸出し等を行う。				活動指標名 (式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		多くの高齢者が施設を利用することで、高齢者相互の交流が活発化する。 施設の活用により、高齢者の自主的活動が活発化する。 施設利用者が、楽しい時間・くつろげる時間を過ごせる。				成果指標名 (式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者相互の交流の促進を図ること、高齢者が生きがいを持って生活を送ることに寄与している。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画		実績		年度		
指標	活動指標 (1)		人	93071		87493		95000		79378		85000	
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)		%	7.1		6.6		7.0		5.8		6.1	
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	72,166		68,689		123,878		108,767		95,857	特記事項
	(内)委託費		千円	36,652		37,901		38,069		37,954		33,111	
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.46	3.00	1.41	3.00	1.30	3.00	1.38	3.00	1.20	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,247		12,793		11,798		12,524		10,890
		非常勤職員分		千円	8,817		8,817		8,898		8,898		0
	総事業費 + + +		千円	94,230		90,299		144,574		130,189		106,747	
	単位あたりコスト ÷		円	1,012		1,032		1,522		1,640		1,256	
	財源	受益者負担分		千円	5,501		4,800		43,999		33,371		32,705
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	5,501		4,800		43,999		33,371		32,705
差引：一般財源 -		千円	88,729		85,499		100,575		96,818		74,042		
受益者負担比率 ÷		%	5.8		5.3		30.4		25.6		30.6		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		施設及び設備は、老朽化に伴い故障や劣化が進んでいる。利用者は、後期高齢者の比率が高くなってきていると同時に、固定化しつつある。また、平成11年度に、施設名称を「老人福祉センター」から「高齢者活動支援センター」に変更したが、利用者にも区側にも従来のイメージが強く残っており、依然として老人福祉センター的な性格が強い施設のままとされている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		設備の故障により、施設の一部が使用不能となった場合に、それに対する苦情が寄せられる場合もあった。										
	今後の予測		施設 設備が老朽化しているため、年次修繕計画に準拠した大幅な改修・修繕を行わない限り施設・設備の故障 劣化は急速に進行する。また、修理のための部品が調達できず、修理不能となる設備も増えている。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電話訪問事業				整理番号	286		枝番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	094101	連絡先 電話番号	4316		昨年度 整理番号	295	
係名 管理係				上位施策名					NO		
予算事業名				高齢者の地域社会での介護予防と自立支援					31		
事務事業の概要	事業開始年度		● 昭和 ○ 平成		49 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 13 年度		(1) 杉並区高齢者電話訪問事業運営要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区高齢者電話訪問事業運営要綱実施細目						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		65歳以上の一人暮らし高齢者または65歳以上の高齢者のみの世帯(近隣に親族が居住していなく、所得税が年額42,000円以下であること)		(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		電話訪問員(民生委員36名)を火~土曜日に3名ずつ配置し、対象高齢者に電話による訪問を行う。		活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		病気や事故による最悪の状況を未然に防止し、安否の確認を行う。 孤独感や不安感を解消する。		成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		日常生活支援サービスの一環として機能し、安心して地域の中で生活できるために有効である。									
区分		単位	11年度 実績	12年度 実績	13年度		14年度 計画	目標値	目標値に 対する13 年度の達		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	584	518	500	389	0			
	活動指標(2)		件	28810	16994	18450	16718	0			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	0			
	成果指標(2)		人	25	11	20	10	0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,867	1,437	1,576	1,413	0	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.22	0.20	0.21				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,087	1,996	1,815	1,906		0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + + +		千円	5,954	3,433	3,391	3,319	0			
	単位あたりコスト ÷		円	10	7	7	9				
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円		1,260	1,021	976			
		特定財源計 +		千円	0	1,260	1,021	976		0	
差引:一般財源 -		千円	5,954	2,173	2,370	2,343	0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		(65歳以上の区内高齢者数と割合) 平成元年 59396人 11,44%。平成 5年 67757人、13,25%。 平成 10年 78796人、15,71%。平成 13年 86050人、16,66%。 (高齢者人口に占めるひとりぐらし高齢者の割合) 平成元年 8,5%。平成 5年 11,9%、 平成 10年 11,3%、平成 13年 12,7%。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		月に3回程度の電話では、あまり意味がない。 普段、人とあまり会話をしない日が多いので楽しみである。 電話だけでなく、様子を見にきてもらいたい。 電話に出るためにあわてて転んでしまうことがある。								
	今後の予測		平成 17年のひとりぐらし高齢者推定数 11640人、 平成 22年のひとりぐらし高齢者推定数 12703人(人口に対する割合は 12,7%と想定)								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康・就労相談				整理番号	287		枝番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	094101	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	296			
係名		管理係		上位施策名				NO					
予算事業名		健康事業		コード	29950		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 老人福祉法第14条の5						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民		(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保健師による健康・生活相談を週1回、就労相談を月4回実施する。				(3)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者が疾病予防と治療療養生活、日常生活の悩み、就労機会の確保について助言指導を受けることができる。				活動指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者の悩みの多くを占める健康に関する認識を高め疾病予防と早期発見、健康の保持増進を図る。				成果指標名(式)							
						(1) 各種相談利用率 = 各種相談利用者数 / 60歳以上の区民数 × 100							
						(2)							
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	人	5,186	5,014	5,070	3,229	3,500						
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%	4.7	4.5	4.5	2.9	3.0						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,183	2,464	2,495	2,263	25	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.13	2.00	1.16	2.00	1.00	2.00	1.06	2.00	0.01	1.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,252	10,525	9,075	9,620	91					
		非常勤職員分	千円	5,878	5,878	5,932	5,932	2,966					
	総事業費 ++		千円	19,313	18,867	17,502	17,815	3,082					
	単位あたりコスト ÷		円	3,724	3,763	3,452	5,517	881					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円	4,320	3,212	743	730	12				
		特定財源計 +		千円	4,320	3,212	743	730	12				
差引:一般財源 -		千円	14,993	15,655	16,759	17,085	3,070						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		東京都の高齢者人口(構成比%)平成4年 16.5 平成6年 17.9 平成8年 19.4 平成10年 20.8 利用者の後期高齢化が目立つとともに単身者・痴呆など処遇困難な相談が多くなっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		身近で健康相談できることで、区民から敬老会館での定期的巡回の要望が強い。										
	今後の予測		高齢者の増加する中、相談による疾病早期発見、閉じこもり防止・寝たきり防止のためにも健康相談は重要性を増す。就労相談は元気な高齢者の増加により、就労を求める高齢者が増加する。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゲートボール場運営				整理番号	288		枝番号			
所属部課名		高齢者活動支援センター		コード	094101	連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	297		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		高齢者活動支援センター運営		コード	29550		高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民で、構成員10名以上の団体		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		ゲートボール場の適切な管理及びゲートボール団体の登録、使用日程の抽選等の運営を行う。				活動指標名 (式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者のグループ活動・スポーツ活動(ゲートボール)が活発に行われている。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者の交流を活性化することにある程度貢献している。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画		実績		年度	
指標	活動指標(1)			26	28	29	29	29	30	96.7		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)			100	100	100	100	100	100	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	464	318	308	349	274	特記事項			
	(内)委託費		千円	456	304	294	293	260				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.11	0.09	0.06	0.06	0.03				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	998	817	545	545	272				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + + +		千円	1,462	1,135	853	894	546				
	単位あたりコスト ÷		円	56,232	40,520	29,397	30,810	18,836				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	1,462	1,135	853	894	546					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用団体が徐々に増えてきている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		開設当初よりコートの水はけが悪く、大雨や雪の後、利用に支障をきたすことがある。									
	今後の予測		現在でもほぼ毎日コート面とも利用されており、荻窪小学校建設予定地(宮前ゲートボール場)を借用しているため、利用者のニーズに対応できているが、今後利用団体が増加してゆくと対応できなくなる可能性もある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		センター事業			整理番号	289	枝番号		
所属部課名 保健福祉部高齢者活動支援センター				コード	094101	連絡先電話番号	4316	昨年度整理番号	298
係名 管理係				上位施策名				NO	
予算事業名 高齢者活動支援センター運営				コード	29550	高齢者の社会参加と交流の拡大			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第4条、第5条の3 第13条1項、第20条の7				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民				(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例				
					(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 1年間を通じて講義・実技などを学ぶ「杉の樹大学」、社会情勢・文化・趣味等をテーマに開催する「公開講座」、高井戸市民センターまつりなどを実施する。				活動指標名(式) (1) 杉の樹大学受講者数 (2) センター事業参加者数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者の教養の向上や健康の増進を図るとともに、交流を活発にし、仲間作りの場とする。				成果指標名(式) (1) 杉の樹大学OB連合会入会率 (連合会入会者数) ÷ (杉の樹大学受講者数) (2) センター事業参加率 (センター事業参加者数) ÷ (区内60歳以上の高齢者数)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の交流の機会の提供と、地域活動への参加意欲の増進を図る。									

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	人	66	116	116	114	40					
	活動指標(2)	人	3348	2662	3000	3318	3500					
	成果指標(1)	%		0.9	30	15.8	50					
	成果指標(2)	%	3.08	2.42	3.00	2.87	3.00					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,964	2,338	2,696	1,438	2,155	特記事項				
	(内)委託費	千円	499	462	674	450	0					
	職員数(正規 非常勤)	人	1.64	0.00	1.70	0.00	1.56	0.00	1.65	0.00	1.00	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,880	15,424	14,157	14,974	9,075				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + + +	千円	17,844	17,762	16,853	16,412	11,230					
	単位あたりコスト ÷	円	270,359	153,122	145,284	143,963	280,750					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0						
		国 都等からの支出金	千円	1,293	3,892	1,917						
		特定財源計 +	千円	1,293	3,892	1,917	0	0				
差引:一般財源 -		千円	16,551	13,870	14,936	16,412	11,230					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化率の推移 昭和50年 7.42% 平成元年 11.44% 平成12年 16.28%
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	杉の樹大学については、カリキュラムの拡充や入学試験の導入についての要望がある。そのほか、各事業において事業の継続と内容の充実、各種大会については実行委員から参加費の徴収などの要望がある。
	今後の予測	高齢者人口の増加に伴い、生涯学習の需要が高まるとともに、学習や娯楽のニーズも多様化する。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会館施設維持管理及び運営委託				整理番号	290		枝番号					
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	094101		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	304			
係名		管理係		上位施策名				NO						
予算事業名		敬老会館運営 敬老会館維持管理		コード	29750 38450		高齢者の社会参加と交流の拡大				30			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		38 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法第4条							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民及び60歳以上の区民が8割以上の団体		(2) 老人憩の家の設置運営について							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者が安全で快適な時間が過ごせるよう、敬老会館の設備保全に努めると同時に、浴室や一般利用・団体利用のための諸室の管理運営を行う。				(3) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域の多くの高齢者が会館を利用し、高齢者相互の交流が活発化する。 舞踊、書道など高齢者の様々なグループに活動の場が提供されている。				活動指標名 (式)							
										成果指標名 (式)				
										(1) 年間延利用者数				
										(2) 利用団体数				
										(1) 会館利用率 = 年間延用者数 ÷ (60歳以上の区民人口 × 2回 × 12月 × 100) 月 2回を標準利用回数とした。				
										(2) 新規利用団体数				
										意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				
										高齢者相互の交流の促進を図ること、高齢者が生きがいを持って生活を送ることに寄与している。				
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標 (1)		人	266,307		267,155		270,000	249,114		260,000			
	活動指標 (2)		団体			381		400	428					
	成果指標 (1)		%	10.2		10.1		9.9	9.2		9.4			
	成果指標 (2)		団体					20	55		30			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	97,699		96,088		96,082	94,076		104,758	特記事項		
	(内)委託費		千円	23,910		25,711		20,971	19,329		44,124			
	職員数 (正規 非常勤)		人	32.36	32.00	29.41	36.00	25.30	42.00	25.38	42.00		19.80	48.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	293,602		266,837		229,598	230,324			179,685	
		非常勤職員分		千円	94,048		105,804		124,572	124,572			142,368	
	総事業費 + +		千円	485,349		468,729		450,252	448,972		426,811			
	単位あたりコスト ÷		円	1,823		1,755		1,668	1,802		1,642			
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	485,349		468,729		450,252	448,972		426,811				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口の増加、それに伴う高齢者の団体の増加及び活動の多様化、介護保険制度の開始に関連して、敬老会館に期待される役割の変化などの状況がある。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		施設や設備の老朽化が進行しており、早期の改修、改築の要望をたびたび受けているが、十分進んでいない。また、畳の部屋が多く椅子が利用できないことや各部屋が独立していないなど、施設や設備が高齢者の身体状況の変化や高齢者団体の増加に十分対応できていない。											
	今後の予測		高齢者人口の増加、それに伴う高齢者の団体の増加及び活動の多様化は、これからますます進んでいくと思われる。また、虚弱な高齢者やひきこもりがちな高齢者も一定の範囲で敬老会館を利用できるよう考慮していく必要がある。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化事業				整理番号	291		枝番号						
所属部課名 保健福祉部高齢者活動支援センター			コード	094104		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	306					
係名 管理係			上位施策名					NO							
予算事業名			コード		高齢者の社会参加と交流の拡大					30					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等								
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民		(1) 老人福祉法第20条の7 (2) 杉並区有財産管理規定 (3) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内在住の落語家に依頼し、年6回敬老会館して敬老寄席を実施する。また、敬老会館利用者の自主的活動を支援するため、講師を派遣し趣味の講座を実施する。					活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		敬老会館利用者が自主的活動を通じてともに活動する仲間をつくる。					成果指標名(式)							
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか					趣味活動を通じて、交流の拡大が図られている。								
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		人	339		228		280		146					
	活動指標(2)		講座	32		27		32		20		32			
	成果指標(1)		%	0.31		0.21		0.25		0.13					
	成果指標(2)		講座	3		4		5		8		12			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,220		1,422		1,614		798		0		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.00	0.23	0.00	0.20	0.00	0.21	0.00	0.10	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087		2,087		1,815		1,906		908			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 + + +		千円	4,307		3,509		3,429		2,704		908			
	単位あたりコスト ÷		円	12,704		15,389		12,246		18,519					
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	4,307		3,509		3,429		2,704		908				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移 昭和50年7.42%、平成元年11.44%、平成11年16.15%												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		趣味の講座に関しては、講座の使用時間についての要望がある。												
	今後の予測		高齢化率の推移 平成17年19.52%												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康体操				整理番号	292		枝番号	1				
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	094101		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	307			
係名 管理係				上位施策名				NO						
予算事業名 健康事業				コード	29950		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援				31			
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		44年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期		●無 ○有		平成 年度		(1) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民		(2) 敬老会館における機能回復訓練実施要領							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各敬老会館を理学療法士7名(非常勤指導員)が巡回し、健康体操を実施する。				活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が、健康体操の指導・実技を受けることにより身体機能の回復・体調維持が図れる。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
高齢者の健康維持														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		人	3,625		3,747		3,828		3,399		3,840		
	活動指標(2)		回	338		331		348		322		384		
	成果指標(1)		%	3.3		3.4		3.2		2.9		3.2		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,864		6,681		7,478		6,343		7,186	特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.14	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.11	0.00	0.10		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,270		907		908		998			908
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + + +		千円	8,134		7,588		8,386		7,341		8,094		
	単位あたりコスト ÷		円	2		2		2		2		2		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0
		国 都等からの支出金		千円	896		1,166		3,739		3,424			3,593
		特定財源計 +		千円	896		1,166		3,739		3,424			3,593
差引:一般財源 -		千円	7,238		6,422		4,647		3,917		4,501			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		東京都の高齢者人口(60歳以上の構成比)平成4年16.5% 平成6年17.9% 平成8年19.4% 平成10年20.8% 杉並区の高齢者人口(60歳以上の構成比)平成14年22.23%											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		健康体操は健康管理が図られ好評											
	今後の予測		高齢者の増加に伴い需要が見込まれる。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		三療サービス				整理番号	292		枝番号	2			
所属部課名		保健福祉部高齢者活動支援センター		コード	09410 1		連絡先電話番号	4316		昨年度整理番号	307		
係名 管理係				上位施策名				NO					
予算事業名 健康事業				コード		29950		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援				31	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		60歳以上の区民		(2) 杉並区三療サービス事業実施要綱						
			杉並区老人三療サービス連絡協議会				(3) 杉並区立高齢者活動支援センター三療サービス事業実施要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)								
敬老会館(32館)及び高齢者活動支援センターにおいて、マッサージ・はりを行う三療サービスを「杉並区老人三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。				(1)		三療サービス敬老会館利用者数		(2)		三療サービス高齢者活動支援センター利用者数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)									
利用者が、三療サービスを受けることを通して健康が維持できる。				(1)		利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100		(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				高齢者の健康維持を図る。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達				
				計画	実績		年度	年度					
指標	活動指標(1)	人	5,089	4,833	5,560	4,310	4,200						
	活動指標(2)	人		2,271	2,271	2,288	2,288						
	成果指標(1)	%	4.6	6.4	6.7	5.6	5.5						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	12,047	10,849	11,409	10,710	12,417	特記事項					
	(内)委託費	千円	10,557	9,364	9,451	9,202	9,451						
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20 0.00	0.25 0.00	0.20 0.00	0.21 0.00	0.10 0.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	2,268	1,815	1,906	908					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + + +	千円	13,862	13,117	13,224	12,616	13,325						
	単位あたりコスト ÷	円	3	3	2	3	3						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
		国 都等からの支出金	千円	5,513	4,383	5,704	5,704	6,210					
		特定財源計 +	千円	5,513	4,383	5,704	5,704	6,210					
差引:一般財源 -		千円	8,349	8,734	7,520	6,912	7,115						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	東京都の高齢者人口(60歳以上の構成比)平成4年16.5% 平成6年17.9% 平成8年19.4% 平成10年20.8% 杉並区の高齢者人口(60歳以上の構成比)平成14年22.23%											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	利用機会の均等化と施術者の技量の差是正											
	今後の予測	高齢者の増加に伴い需要が見込まれる。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		少子化対策臨時特例交付事業（区立児童館・学童クラブ施設整備）				整理番号	352		枝番号		
所属部課名 保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	373		
係名 管理係		上位施策名						NO			
予算事業名 少子化対策特例交付金事業		コード	37700		子どもの育成環境の整備				28		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 13年度		(1) 児童福祉法第6条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例								
	ゆうキッズ事業に参加する利用者（幼児、保護者）、学童クラブ入会者（小学生）		(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名（式）								
ゆうキッズ事業を10月から全児童館で開始するにあたり、施設整備物品（カーペット、折畳ベッド等）と、幼児用遊具（乗物用具、トンネルアーチ等）を購入する。また、学童クラブのおやつを出す際、使用しているメラミン食器について、環境ホルモンに対する安全性が懸念されているため、全学童クラブで強化磁器食器に買い換える。		(1) ゆうキッズ物品購入数									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		(2) 学童クラブおやつ用食器購入数（皿、深皿、カップ）									
ゆうキッズ事業を、全児童館で一斉に開始することにより、地域で子育てを応援していく場としての役割を担う。また、食器を買い換えることによって、環境ホルモンに対する利用者や保護者の安全と安心を得る。		成果指標名（式）									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(1) 児童館幼児利用者数									
全児童館でゆうキッズ事業を開始することで、地域の身近な場所で、幼児を対象とした遊びのプログラムをより多く提供でき、さらに地域の実情にあった子育て支援ができるため、児童健全育成はもとより、子育て支援施策に貢献できる。また、食器を買い換えることで、安心して学童クラブに預けられる環境を整えられるため、同様に貢献できる。		(2) 学童クラブ入会者数									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		15年度	年度			
指標	活動指標(1)	人	0	0	0	375	0	0			
	活動指標(2)		0	0	0	4,337	0	0			
	成果指標(1)	人	160,337	159,406	0	161,310	0	0			
	成果指標(2)	人	1,983	2,019	2,325	2,061	2,325	2,325	88.6		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	30,865	17,575	16,232	16,232	0	特記事項			
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.00	0.20	0.00	0.23	0.00	0.05	0.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,815	2,087	454	454			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	32,680	19,390	18,319	16,686	454				
	単位あたりコスト ÷	円				44,495					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国都等からの支出金	千円	29,817	17,573	0	19,799	0			
		特定財源計 +	千円	29,817	17,573	0	19,799	0			
差引:一般財源 -		千円	2,863	1,817	18,319	-3,113	454				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	以前から、児童館では、幼児を対象とした事業を実施していたが、多くの事業は、一番の利用者である小学生を中心として展開してきた。そのため、各館ごとに幼児対象の事業については、実施回数の格差があった。そのため、全館一斉に、幼児を対象とした事業（ゆうキッズ事業）を、平日の午前中に取り組みことになった。									
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）	児童館で幼児対象の事業をしているのを知った、利用してみたい。お昼の時間帯も利用できるようになって、のんびり過ごせた。毎日、自由に使えてうれしい。みんなでお昼を食べるのに利用できて良かった。1年間、決まったメンバーと遊べるのが良い。自由来館より、目的があった方が利用しやすい。遊具がきれいになってうれしい。									
	今後の予測	ゆうキッズ事業を開始するにあたり、主に施設の受け入れ体制を今回整備したが、幼児用遊具については、事業を継続していくためには、利用者の反応や要望も考慮すると共に、補充も含め用意をしていく必要がある。学童クラブのおやつ用食器については、壊れ物なので、将来的には補充も必要になると考えられる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター施設維持管理及び運営				整理番号	370		枝番号		
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401	連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	391	
係名		管理係			上位施策名				NO		
予算事業名		児童館等維持管理		コード	44050	子どもの育成環境の整備				28	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第1~4, 7, 35, 40, 45条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	児童青少年センターの建物、センター利用者（主に中高生）、センター及び児童館職員、地域住民の団体		(3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		センターの維持管理及び運営。センター及び41児童館の職員研修、物品の貸し出し 事故対応。				活動指標名（式）				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		センターを安全かつ快適に利用できる施設とする。センター運営に中高生生の意見等を反映させる。センター及び41児童館職員の資質を向上させる。事業に必要な物品を効率的に貸し出す。				成果指標名（式）					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		子供がのびのびと育つ環境を提供している。子どもの権利条約の趣旨を具体化できる環境をつくっている。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		15	年度			
指標	活動指標(1)	人	68,278	64,266	99,600	67,043	99,600	99,600	67.3		
	活動指標(2)	日	359	358	358	358	358	358	100.0		
	成果指標(1)	件	23	17	17	24	17	17	70.8		
	成果指標(2)	人	205	193	300	300	300	300	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	46,128	36,759	38,312	36,105	35,762	特記事項			
	(内)委託費	千円	26,091	19,790	17,847	17,600	16,036				
	職員数(正規 非常勤)	人	9.67	0.00	9.35	0.00	10.40	0.00	10.40	0.00	
	人件費	千円	87,736	84,833	94,380	94,380	94,380				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	133,864	121,592	132,692	130,485	130,142				
	単位あたりコスト ÷	円	1,961	1,892	1,332	1,946	1,307				
	財源	千円	61	47	33	39	35				
	国 都等からの支出金	千円									
	特定財源計 +	千円	61	47	33	39	35				
差引:一般財源 -	千円	133,803	121,545	132,659	130,446	130,107					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	全国に先駆け、中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されている。杉並区の13~18歳人口:平成9年26,085人、平成12年度24,206人、平成13年度23,680人、平成14年度23,342人									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	事業開始時から、TV、新聞、関係機関からの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されている。平成13年度視察件数268件									
	今後の予測	施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増える。運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増す。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボランティア運営				整理番号	371		枝番号			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094404	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	392		
係名		運営指導係			上位施策名				NO			
予算事業名		児童健全育成事業		コード	43550		地域子育て支援の充実				26	
事務事業の概要	事業開始年度		● 昭和 ○ 平成		63 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館ボランティア登録要領							
	児童館のボランティアとして活動している個人、団体及び今後活動を希望する区民		(3) 杉並区子供家庭支援センター事業実施要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		講演会などを通じてボランティアを育成し、登録制度により児童館の活動につなげる。実技講座1回、障害児のサポート講座6回を開催する。児童館ボランティアの手引きを改訂し、ボランティア活動者及び希望する区民に配布し、児童館への理解と協力を得るとともに、人材の発掘を図る。				活動指標名(式)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		登録制度、講座実施、ニュース発行により、まだ参加したことのない区民をはじめ、継続的にボランティア活動がしやすいようにする。とりわけ、障害児の余暇活動を支える活動への関心を促進する。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ボランティアの児童館事業への参加により、子供たちの地域での体験や生活の幅を広げる手助けをする大人を増やし、世代を越えた人と人の交流を進めることができる。また、地域での交流を求めている障害児とその家族にとっては、児童館事業に参加がしやすくなり、健常児との交流を図ることができる。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			15年度	
指標	活動指標(1)		人	1,116	1,049	1,100	962	1,100	1,100	87.5		
	活動指標(2)		人	144	147	120	158	120	120	131.7		
	成果指標(1)		人	17	30	15	20	20	20	100.0		
	成果指標(2)		%	12	20	13	13	17	17	76.5		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	208	167	163	154	163	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.10	0.15	0.10	0.15	0.10	0.15	0.10	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361		
		非常勤職員分		千円	294	294	297	297	297			
	総事業費 ++		千円	1,863	1,822	1,821	1,812	1,821				
	単位あたりコスト ÷		円	1,669	1,737	1,655	1,883	1,655				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	1,863	1,822	1,821	1,812	1,821					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		身近な地域で気軽に参加できる良さがあり登録者も1,000人を越えるほどになった。学生の団体登録以外は、地域住民との直接の信頼関係を基に、活動に参加している人が多い。地域住民とのつながりのない活動希望者に対しては、住所や活動動機等の確認はもちろんのこと、適切な活動をしてもらえるような働きかけが、一層重要となっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		子供と知り合えて楽しかった、自分の趣味や技術を生かしてよかった、我が子以外の子供に接して子供に対する理解が広がった、講座は技術向上に役立った、障害児と接しているいろいろな子供たちがいるのがよかった、地域の親や子と知り合えて挨拶されると嬉しい、どこでどんな活動に参加できるのか具体的な情報が欲しい等の意見 要望が寄せられた。									
	今後の予測		子供のために活動を支えるだけでなく、若い親の子育てを支える地域ボランティアが必要となっている。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター事業				整理番号	372		枝番号			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094407		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	394	
係名 事業係				上位施策名				NO				
予算事業名		児童青少年センター運営		コード	39420		子どもの育成環境の整備				28	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 児童福祉法第1~4・7・35・40条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学中・高校生				(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 中・高校生の自主的、主体的な自己実現を進めるプログラムを実施する。中・高校生が主体となって、事業の企画・運営を行う。				活動指標名(式)				(1) 講習会開催回数および自主企画実施回数			
								(2) 自主企画スタッフ数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 中・高校生の自主的余暇活動を支援し、交流の場を提供する。また、事業の企画・準備・運営を通して、中・高校生の主体性や自主性を育てる。				成果指標名(式)				(1) (代)講習会参加者数及び自主企画参加者数				
								(2) 自主企画スタッフ数÷自主企画事業数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 中・高校生の自主性、主体性を育てることで、中・高校生の健全育成に貢献している。												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		15	年度				
指標	活動指標(1)	回	393	390	390	366	370	370	98.9			
	活動指標(2)	数	240	374	350	381	380	380	100.3			
	成果指標(1)	数	4,140	4,538	3,700	4,148	4,200	4,200	98.8			
	成果指標(2)	数	48	124.7	100	64	65	65	97.7			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,485	4,654	4,751	4,404	4,472	特記事項				
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)	人	9.13	7.00	10.35	7.00	10.85	7.00	10.85	7.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	82,836	93,906	98,464	98,464	98,464				
		非常勤職員分	千円	20,573	20,573	20,762	20,762	20,762				
	総事業費 ++	千円	108,894	119,133	123,977	123,630	123,698					
	単位あたりコスト ÷	円	277,085	305,468	317,889	337,786	334,318					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	108,894	119,133	123,977	123,630	123,698					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成9年9月のセンター開設以降の利用者数の推移を見ると、9年度44,387人、10年度68,096人、11年度68,278人、12年度64,266人、13年度66,953人と、67,000人前後でほぼ安定した状態となっている。このことは、杉並区の13歳~18歳人口が平成9年の26,085人から平成13年の23,680人に年々減少を続けている状況を勘案すると、利用率の相対的な増加傾向を物語っている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	中・高校生から次のような意見が寄せられている。干渉されずに自由に過ごしたり、バンドスポーツ、ダンス等自分の好きな活動に打ち込むことができる。知識、技術の面でサポートしてくれる大人の存在もうれしい。自主企画や中・高校生運営委員会等で、自分たちで考えた企画が実現できて手応えを感じた。										
	今後の予測	中・高校生の要望が多様化する。中・高校生の区内での活動拠点、自己実現を図る場として、ますます重要な役割を担うと予測される。地域児童館における地域中・高校生委員会とセンター中・高校生運営委員会との連携活動を通じて、自主活動がますます活発化する。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども家庭支援センター		整理番号	373	枝番号			
所属部課名 保健福祉部児童青少年センター		コード	094410	連絡先電話番号	3393-4760	昨年度整理番号	395		
係名 子育て推進係			上位施策名			NO			
予算事業名 児童青少年センター運営			コード	39420	地域子育て支援の充実			26	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度			根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度			(1) 児童福祉法第1~4, 7, 35, 40, 45条	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行規則				
	子ども自身(小学生~高校生)、及びすべての子どもがいる家庭、区内の児童福祉に関わる地域団体、関係行政機関		(3) 杉並区子ども家庭支援センター事業実施要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)						
子どもと家庭に関するあらゆる相談を、子ども自身と大人から受ける。関係機関と連携した対応が必要なケースについて、サービスの調整を行う。地域子育てネットワーク事業、母親クラブ支援などの地域活動を支援する。親の病気等で養育できない子どもを短期間あずかる。(子どもショートステイ)				(1) 相談件数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				(2) 地域子育てネットワーク事業実施回数					
子どもと家庭のことで困ったとき、相談でき、必要な支援を受けられる。関係機関が、連携により力を発揮しやすくなる。地域における子育て支援に熱意のある人が、自分の力を提供できる。				成果指標名(式)					
				(1) 1日あたりの相談件数					
				(2) 地域子育てネット事業の1地域あたりの事業数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
子ども自身と親の不安を軽減し、子育てを楽しいものにし、支援が必要な家庭へ関係機関が連携して対応を図ることができる。									

区分	単位17	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
				計画	実績		17	年度	
指標	活動指標(1)	件	729	780	800	1545	2000	1,000	154.5
	活動指標(2)	回	974	1049	1100	1152	1200	1,200	96.0
	成果指標(1)	件	3	3	3	6	8	4	150.0
	成果指標(2)	人	24	26	28	29.00	31.00	35	82.9

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		特記事項			
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,710	5,669	7,139	6,774	7,667	子どもショートステイは、社会福祉法人に運営を委託している。					
	(内)委託費	千円		4,909	5,334	4,990	5,109						
	職員数(正規 非常勤)	人	1.40	0.40	1.30	0.40	1.30				0.40	2.30	1.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,702	11,795	11,798	20,873				20,873		
		非常勤職員分	千円	1,176	1,176	1,186	2,966				2,966		
	総事業費 + +	千円	20,588	18,640	20,123	30,613	31,506						
	単位あたりコスト ÷	円	28,241	23,897	25,154	19,814	15,753						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0				0		
		国 都等からの支出金	千円	9,862	9,186	9,670	9,396				9,670		
		特定財源計 +	千円	9,862	9,186	9,670	9,396				9,670		
差引:一般財源 -		千円	10,726	9,454	10,453	21,217	21,836						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	杉並区の児童数は、この15年で9万人から6万人に激減し、出生率も0.78(12年度)に大きく減少した。子育て不安、家族の孤立、不登校、虐待といった課題を抱える子どもや家庭の数は急増している。保護者からの相談件数の増加、関係機関との連携による件数の増加により相談件数は、H12年度からH13年度にかけて倍増した。継続的チームケアが必要な件数が増し、関係機関との相互理解が進んだ。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	<子ども> 不安を聞いてもらい気持ちが落ち着いた、友人関係の悩みや家族にはわかってもらえない気持ちを話せた、どうしてこんなに不安なのか精神科医に話せて良かった等。<大人> 気持ちが落ち着いた、託児などの情報が得られて良かった、思春期の子の難しさや親のイライラを話すことで冷静さを取り戻せた、医療機関等の紹介により早めの対応ができた、夜間の仕事のと子どもを預かってほしい等
	今後の予測	増加する困難要因(強い育児不安、親の精神疾患、子どもの障害、ひとり親、経済的困窮、高齢者介護等)を抱えた家庭に対し、関係機関がチームケアの体制を作って支援していくことが多くなる。そのためにも、学校、保育園、児童館などの子どもがいる施設で気づいた要支援家庭に対し、関係機関の支援を調整するケースマネジメント機能の強化が不可欠となる。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年社会参加活動推進事業				整理番号	374		枝番号					
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	396				
係名		管理係			上位施策名				NO					
予算事業名		児童青少年センター運営		コード	39420		子どもの育成環境の整備							
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		11 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40条							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則									
	区内在住・在学中・高校生。		(3) 年長児童育成の街試行事業実施要綱											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名（式）											
中・高校生の自主的・主体的力量を高めるために、調査・研究・合宿・発表の場の設定などを行う。あわせて、地域における社会活動参加体験として、地域住民・団体等の協力を得て、労働体験・ボランティア体験・伝統行事体験等の場を提供する。		(1)		自主企画事業実施回数										
		(2)		中学生社会参加体験事業数										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名（式）												
中・高校生が自己実現を図り、主体的参加の中で自らを高め、学び、もって中・高校生の意図を現していけるようにする。中学生が地域の様々な社会活動に参加し、地域の大人と一緒に活動を体験することで、地域の実情を知り、参画していく糸口にする。		(1)		（代）社会参加事業参加者数										
		(2)		中学生社会参加体験事業参加率 = 参加者数 ÷ 中学生総数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
中高生主体の活動が活発化することにより、自らの地域を見直し、社会性を身に付ける貴重な体験となる。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績	計画		15年度	年度		
指標	活動指標(1)		回	12	6	6	6	0	0	100.0				
	活動指標(2)		回	0	71	205	44	12	12	366.7				
	成果指標(1)		人	341	1,668	1,300	2,252	2,070	2,070	108.8				
	成果指標(2)		%	0	16	18	31	30	30	103.3				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,322	3,479	2,875	2,032	1,210	特記事項					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	11年度は、児童青少年センターのみで企画事業として実施していたが、12年度より商店での仕事体験など、地域における中学生の社会参加体験事業として、各児童館において事業展開をしたため、事業従事職員が大幅に増えた。12年度及び13年度の国・都の補助金については、他の年長児童育成の街試行事業に特定財源として一括計上した。						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.55 0.00	12.60 0.00	12.09 0.00	12.10 0.00						12.10 0.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,990	114,320	109,717						109,808	109,808
		非常勤職員分		千円	0	0	0						0	
	総事業費 + +		千円	12,312	117,799	112,592	111,840						111,018	
	単位あたりコスト ÷		円	1,026,013	19,633,133	18,765,292	18,639,917							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0						0	
		国・都等からの支出金		千円	10,000	0	0						0	
		特定財源計 +		千円	10,000	0	0						0	
差引：一般財源 -		千円	2,312	117,799	112,592	111,840	111,018							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		厚生省の年長児童育成の街試行事業として、3年間実施されたものである。中高生委員会中心の活動から、子ども委員会の活動にまで広げ実施してきた。平成12年度から41児童館で中学生社会参加体験事業を実施した。13年度からは社会参加体験が中学校の総合学習授業に組み込まれ、協賛の形での実施もしている。また、14年度より企画はセンター事業に統合された。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		中・高校生からは、貴重な体験ができ役立った、教えることがこんなに難しいとは思わなかった等、初めての体験に対して驚きや発見、喜びの声が聞かれた。また、受け入れ側である地域住民からも、中・高校生が熱心に取り組んでいて教えがいがあった、今後も継続してほしいという感想があった。											
	今後の予測		3ヶ年の試行事業の成果を踏まえ、今後も中・高校生の自主性・社会性を育成し、主体的に参加したり体験できる企画を考えていく必要がある。また学校の総合学習授業との役割分担を明確にし、補填する形での実施を検討していく必要がある。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号	375		枝番号			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094407	連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	397		
係名 事業係				上位施策名				NO				
予算事業名		児童青少年センター運営		コード	39420	交流と平和の推進				68		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		1 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区都市交流実施要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)					
			区内在住・在学の 小学4～6年生(吾妻30名、風連夏25名) 中学生(風連冬25名)				(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		風連・吾妻両友好都市の児童と共に、班ごとの交流活動、双方の町体験、しばれ体験等の事業を実施する。				活動指標名(式)					
							(1) 参加者人数					
						(2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		子どもどうしの交流を通して、友好都市の文化・生活・風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図る。				成果指標名(式)						
						(1) 応募者数						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
風連町、吾妻町との都市交流事業を、児童による交流の面から担っている。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画		実績		15年度	
指標	活動指標(1)		人	85	75	80	70	55	70	100.0		
	活動指標(2)			0	0	0	0	0	0			
	成果指標(1)		人	148	144	140	108	75	110	98.2		
	成果指標(2)			0	0	0	0	0	0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,832	4,830	4,977	4,806	5,146	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.79	0.00	1.25	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	16,241	11,341	10,890	10,890	10,890			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	22,073	16,171	15,867	15,696	16,036				
	単位あたりコスト ÷		円	259,678	215,617	198,338	224,229	291,564				
	財源	受益者負担分		千円	1,510	1,190	1,300	1,350	875			
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	1,510	1,190	1,300	1,350	875			
差引:一般財源 -		千円	20,563	14,981	14,567	14,346	15,161					
受益者負担比率 ÷		%	6.8	7.4	8.2	8.6	5.5					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		応募者数は、平成11年度148人、平成12年度144人と推移し、平成13年度108人と減少した。これは、吾妻交流会が杉並区での実施の年にあたったため、魅力を欠く印象を与えたためと思われる。吾妻交流会についてのこの傾向は、吾妻町実施の14年度も同様で、成果指数の数字となって現れている。また、冬の風連交流会は、14年度以降、隔年実施となった。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		参加した児童の保護者から、「多くの友達ができ、充実したプログラムだった」との評価を得ている。先方の町を知り人や文化とふれあう貴重な体験となった」との感謝の声が寄せられている。「今後も事業を継続してほしい」とい要望も多い。									
	今後の予測		小学生の事業参加者が、中学生になって冬の風連交流会に応募し、そのOBがボランティアとして事業運営に協力するなど、継続性が見られる。文化・交流課との連携により、成長した参加者が他の交流事業に参加するなど、発展の可能性がある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館維持管理及び運営				整理番号	376		枝番号			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	398		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		児童館等維持管理		コード	44050		子どもの育成環境の整備					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 児童福祉法第35条、40条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例							
	児童館及び学童クラブ		18歳未満の児童及び保護者		(3) 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用経費の執行事務				活動指標名(式)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		児童の健全育成を実現させる観点から、適切な維持管理等により施設の有効利用と耐用年数の向上を図り、区民が安心して利用できる施設とする。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		施設の安全性、利便性、快適性の向上に努めることは、子どもの育成環境の整備に直結することとなる。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		15年度		
指標	活動指標(1)		m ²	24,710.88	24,710.88	24,710.88	24,710.88	24,710.88	24,710.88	24,710.88	100.0	
	活動指標(2)		人	1,006,108	1,018,376	1,167,000	1,024,772	1,167,000	1,167,000	1,167,000	87.8	
	成果指標(1)		件	177	178	176	193	176	176	176	109.7	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	306,942	260,948	272,089	267,264	227,025	特記事項			
	(内)委託費		千円	150,432	121,364	120,641	115,086	134,950				
	職員数(正規 非常勤)		人	108.61 38.50	102.80 39.20	98.69 39.20	89.50 38.60	89.50 38.60				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	985,419	932,704	895,612	812,213	812,213				
		非常勤職員分	千円	113,152	115,209	116,267	114,488	114,488				
	総事業費 ++		千円	1,405,512	1,308,861	1,283,968	1,193,964	1,153,725				
	単位あたりコスト ÷		円	56,878	52,967	51,960	48,317	46,689				
	財源	受益者負担分		千円	8	3	148	2,139	1,267			
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	8	3	148	2,139	1,267			
差引:一般財源 -		千円	1,405,504	1,308,858	1,283,820	1,191,825	1,152,458					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		児童館設置数(各年12月31日現在)昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年=41館									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		施設設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁等の剥離、また、設備面では、排水管の詰まりによる悪臭、空調設備が充足していないことによる室温の問題といった不具合が生じており、それらに対する苦情、指摘等を受けている。									
	今後の予測		施設維持管理の面では、順次古い館からの建替えまたは大規模修繕が必要となる時期が逼迫していると思われる。現在経年的に実施している営繕工事の予算では適正な施設維持は困難である。また、運営面では、事務用備品の老朽化により(電子複写機など)事務の適正な遂行に支障を来す恐れがある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館事業				整理番号	377		枝番号				
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401	連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	399			
係名		管理係			上位施策名				NO				
予算事業名		児童館等維持管理		コード	44050		子どもの育成環境の整備				28		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第35条、40条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		18歳未満の児童及び保護者		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		自由利用、定例活動(工作・調理等)、小型特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会等)、大型特別行事(まつり・キャンプ等)、子育てネットワーク事業(地域連携・シンポジウム等)・ゆうキッズ事業等による子育て支援活動				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		児童館事業を通じて、児童の自主性・創造性が生まれ、健やかに成長する。また、保護者が安心して子育てができています。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
児童館事業をとらして児童の健全育成に貢献する。また、子育てに対する支援策を充実させることにより、安心して子育てができる環境の整備を行う。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			15年度		
指標	活動指標(1)		回	13,767	11,059	10,888	12,475	16,865	16,865	114.6			
	活動指標(2)		人	306,698	283,801	350,100	365,162	350,100	350,100	104.3			
	成果指標(1)		%	30.5	27.9	30	35.6	30	30	118.7			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,204	24,037	31,180	26,515	30,453	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	44.64	16.50	40.50	16.80	38.59	16.80	40.50	16.80	45.20	16.80
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	405,019	367,457	350,204	367,538	410,190				
		非常勤職員分		千円	48,494	49,375	49,829	49,829	49,829				
	総事業費 ++		千円	487,716	440,869	431,213	443,881	490,472					
	単位あたりコスト ÷		円	35,426	39,865	39,604	35,582	29,082					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国都等からの支出金		千円	1,750	1,750	0	1,750	0				
		特定財源計 +		千円	1,750	1,750	0	1,750	0				
差引:一般財源 -		千円	485,966	439,119	431,213	442,131	490,472						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		児童館設置数(各年12月31日現在)昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年=41館 18歳未満児童数(各年1月1日現在)昭和61年=98,222人、平成2年=84,706人、平成7年=69,662人、平成12年=62,023人										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		既存事業のなかで、ゆうキッズ事業をはじめとする子育て支援事業、いじめ・不登校など子ども自身が抱えている問題に対する相談、中高生事業や調理・スポーツ活動など子ども主体の行事など時代の変化に対応した事業に対する高い評価を得ている。また、保護者や地域の方々からの要望として、地域における子育て支援の拠点としての充実また、障害児童への対応の充実が求められている。										
	今後の予測		問題を抱えている子どものみならず、子育てに困難を感じる親への支援がより必要となる。子育て、子育ての困難への対応、さらには虐待や養育困難家庭への対応が求められる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		母親クラブ活動助成費				整理番号	378		枝番号			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094410	連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	400		
係名		子育て推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		児童館運営		コード	39600	地域子育て支援の充実				26		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 厚生省通達「国庫補助による地域組織活動要綱」					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区母親クラブ運営基準							
	近隣地域を単位に母親達で構成され、児童館と有機的連携を持つ子どもの健全育成を図る団体。18団体と連絡会の計19団体、会員総数約470名。							(3) 杉並区母親クラブ活動費補助要綱				
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)					
	母親としての資質の向上と地域の子どもの健全育成を図る母親クラブの活動を、児童館が協働して事業内容を推進するとともに、財政的に支援する。							(1) 活動助成件数				
意図		(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)						
地域での交流と協力関係を深め、児童館との協働を基本にして、親としての力やノウハウを若い親に伝え、地域での子育ての支え合いを進める。							(1) 1クラブあたり事業数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか							(2)					
区民を主体とした地域の中での親同士の交流、支え合いがすすむ。												
区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	15年度	年度			
指標	活動指標(1)	団体数	21	19	21	18	18	18	18	100.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人		59	60	61	62	63	96.8			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,600	900	1,000	850	850	特記事項				
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.79	0.50	0.55	0.50	0.55	0.50	0.50	0.50	0.50	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,168	4,990	4,991	4,538	4,538				
		非常勤職員分	千円	1,470	1,470	1,483	1,483	1,483				
	総事業費	千円	13,237	7,360	7,474	6,871	6,871					
	単位あたりコスト	円	630,341	387,350	355,917	381,694	381,694					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
		国都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源		千円	13,237	7,360	7,474	6,871	6,871					
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	S52年度に8団体で始まり H9年度24団体と最高になった。しかし、組織運営の負担から新規会員が増えず、H13年度18団体となり、会員数も減少した。H12年度に補助金額が大きく減額され、地域交流事業、子どもを対象とした事業を工夫して実施する一方、劇団委託、講演会など多額の予算を必要とする事業が実施できなくなった。若い母親の子育て支援事業に、児童館と協働し、新しい試みが行われ始めている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)	予算案作成、決算報告について補助金額分のみでできないか。助成金の減額で劇上演、もちつきなど予算が大きくかかるものの実施ができなくなった。参加費をとってミニコンサートや人形劇を児童館で実施したい。若い親を会員にしたいが難しい。人形劇活動だけでなく、特定の活動内容で補助金を受けたい。										
	今後の予測	地域での子育て支援をすすめるために先輩ママとして、区民自身による地域交流の主体者として母親クラブ会員に対する期待は増してくる。会員の拡大は難しい状況であるが、現会員の力を若い親の子育て支援に活かしていただく無理のない取り組みが必要である。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ施設維持管理及び運営				整理番号	379		枝番号			
所属部課名		保健福祉部児童青少年センター		コード	094401	連絡先電話番号	3393-4760		昨年度整理番号	401		
係名		管理係		上位施策名				NO				
予算事業名		学童クラブ運営		コード	43350		子どもの育成環境の整備				28	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第6条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例					
	運営においては、区内在住・在学の小学1年生から4年生までの児童と6年生までの障害児						(3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区内46学童クラブにおいて共働き等により留守家庭となる児童に日常活動を通じ、集団生活の中で自主性、協調性を促すよう援助指導を行う。また障害児の巡回指導を行う。				活動指標名(式)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		共働き等により留守家庭となる児童に対し、放課後の保育の場を提供することにより、親が安心して働ける環境を整備するとともに、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		学童クラブを整備することにより、放課後児童の保育に欠ける家庭に対し、保護者が安心して働くことのできる環境を提供するとともに、集団生活や遊びをとおして児童の健全育成を図ることができる。				(1) 入会希望者の入会率 = 入会者数 ÷ 入会申請数						
						(2) 区立小学校児童の入会率 = 入会者数 ÷ 区立学校小学1~4年生の児童数						
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		15年度	年度				
指標	活動指標(1)	人	1,983	2,019	2,100	2,061	2,100	2,100	98.1			
	活動指標(2)	箇所	34	34	33	33	35	46	71.7			
	成果指標(1)	%	93	92	100	93	100	100	93.0			
	成果指標(2)	%	17	18	18	18	18	18	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	102,230	108,014	106,798	102,784	113,490	特記事項			
	(内)委託費		千円	2,606	1,850	1,932	1,890	2,272	過去3年間学童クラブ待機児童数(各年4月1日現在) 平成11年度 38名 平成12年度 42名 平成13年度 49名			
	職員数(正規 非常勤)		人	68.68	5.00	66.70	5.00	66.70			5.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	623,134	605,169	605,303	605,303	605,303				
		非常勤職員分	千円	14,695	14,695	14,830	14,830	14,830				
	総事業費 + +		千円	740,059	727,878	726,931	722,917	733,623				
	単位あたりコスト ÷		円	373,202	360,514	346,157	350,760	349,344				
	財源	受益者負担分		千円		19,621	40,000	36,867			63,072	
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	19,621	40,000	36,867			63,072	
差引:一般財源 -		千円	740,059	708,257	686,931	686,050	670,551					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	2.7	5.5	5.1	8.6					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		学童クラブ入会者数平成8年度:2,019人、平成9年度1,870人、平成10年度1,937人、平成11年度1,983人、平成12年度2,019人、平成13年度2,061人。対象児童数の減少傾向にも関わらず入会希望者数及び入会者数は増加傾向にある。対策として第二学童クラブ施設改修による定員増、午後6時までの育成時間延長を実施してきた。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		希望者の全員入会、保育時間の延長、障害児受入(人数、中学生)の拡大、学校への迎えを行ってほしいとの要望がある。									
	今後の予測		共働き世帯、ひとり親世帯の増加等により、入会児童数は年々増加傾向にあり、このまま推移していくと5年から6年後には、現在の定員で対応できなくなる可能性がある。ただし少子化傾向とあわせて予測した場合は、増加率が低下していくことも考えられる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ事業				整理番号	380		枝番号		
所属部課名 保健福祉部児童青少年センター		コード	094401		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	402		
係名 管理係		上位施策名						NO			
予算事業名	児童健全育成事業		コード	43550		子どもの育成環境の整備		28			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		39 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第6条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例						
	区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの障害児		(3) 杉並区学童クラブ事業運営要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)								
区内46学童クラブにおいて、共働き等により留守家庭となる児童の援助・指導を行う。その援助の一環として、歓送迎会や誕生日会などを実施する。		(1) 入会児童数									
		(2) 学童クラブの事業実施回数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)									
集団生活における児童の自主性・協調性を促すことにより、知識や経験、社会性等を高める。		(1) 学童クラブ出席率									
		(2) 事業参加人数									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
保護者が安心して働くことのできる環境を提供するとともに、児童の健全育成を図ることができる。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		15	年度			
指標	活動指標(1)	人	1,983	2,019	2,325	2,061	2,325	2,325	88.6		
	活動指標(2)	回	1,183	1,218	1,200	1,231	1,200	1,200	102.6		
	成果指標(1)	%	79	74	90	74	90	90	82.2		
	成果指標(2)	人	40,196	40,569	40,000	42,719	40,000	40,000	106.8		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	267	198	830	198	848	特記事項			
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)	人	28.79	1.00	28.10	1.00	28.10	1.00	28.10	1.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	261,212	254,951	255,008	255,008	255,008			
		非常勤職員分	千円	2,939	2,939	2,966	2,966	2,966			
	総事業費 + +	千円	264,418	258,088	258,804	258,172	258,822				
	単位あたりコスト ÷	円	133,342	127,830	111,313	125,265	111,321				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			
		国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	264,418	258,088	258,804	258,172	258,822				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	学童クラブ入会者数 H8:1,759人 H9:1,870人 H10:1,937人 H11:1,983人 H12:2,019人 H13:2,061(平成13年4月1日現在) 少子化にも関わらず、長引く不況や社会環境の変化により、共働き世帯や一人親世帯が増加し、学童クラブの需要は大きくなっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	遠足等、外遊びの機会や入会児童以外の児童と交流する機会など、事業内容の質の向上を求める声がある。また、保育時間の延長や短期及び一時入会等、柔軟な対応を求める声も大きくなっている。									
	今後の予測	一人親世帯等、困難な家庭状況を抱える児童の増加により、個別のかつ丁寧な援助・指導を求められることが予測される。また、入会希望者数自体も、女性の社会進出や離婚率の増加等により増えることが予測される。									